

☆JAホットコミュニケーション☆

大翔

2020

春号

No.212

—たいしょう—



青年部



女性部



フレッシュ
ミス



帯廣大正

平成31年度 青年部国内視察研修報告

【日程】 令和元年11月22日～11月25日

【視察先】 ・ JAXA筑波宇宙センター
・ 食と農の科学館
・ 東京都中央卸売市場 豊洲市場
・ 韓ロック・フィールド 玉川ファクトリー

【参加者】 ★団長 松浦 聖矢(幸福) ★会計 牧野 友佳(桜木)
西本恵一郎(昭和) 戸井 勢雄(昭和)

JAXA筑波宇宙センター

筑波宇宙センターは、茨城県つくば市にある宇宙航空研究開発機構、通称JAXAが所有する独立行政法人の施設です。センターは敷地面積33万㎡で、本部棟・技術研究棟・管制棟・試験棟・実験棟・磁場試験棟の他、一般見学者向け展示館「スペースドーム」があります。ツアーではまず、宇宙センターで行う活動に関してのビデオを見ました。ISS国際宇宙ステーション実験棟「きぼう」の運用管制、H2A・Bやイプシロンなどのロケット開発、人工衛星の開発と追跡監視、環境試験設備での実験や世界トップレベルを意識した研究開発の説明を受けました。

次にバスに乗り、宇宙飛行士の訓練を行う宇宙飛行士養成施設へと向かいました。そこには、実際に使用されている閉鎖環境適応訓練設備や低圧環境適用訓練設備があり、前に行われた宇宙飛行士選抜試験では963名の応募者の中から書類選考・筆記試験・面接・医学検査などの厳しい試験に合格した3名がJAXA宇宙飛行士に選ばれたという話を伺うことができた。また、宇宙空間での実験について説明を受け、無重力化でしか出来ないタンパク質の実験や新しい物質の研究などの話を伺うことができました。次に、ISS国際宇宙ステーションの「きぼう」日本実験棟の管制室を見学しました。セキュリティが厳しく、管制室の入口前にはすべての撮影機材を預けての見学となりました。管制室内は大小のモニターが数多くあり、三交代24時間体制で運用管制を行っています。宇宙での活動は協定世界時を基準にしている為、見学時の宇宙ステーションは朝の6時頃で、管制官の人数も少数でした。リアルタイムの宇宙からの映像も見ることができ、貴重な体験になりました。施設見学後



はスペースドームで様々な模型や実験説明を見ることができました。地球環境変動観測ミッションとして打ち上げられた水循環変動観測衛星「しずく」や気候変動観測衛星「しきさい」は、農業を営む私たちには欠かせない天気予報の精度を上げ、小麦など穀物の生育予測にも活用されるなど宇宙と農業の密接な関わりを感じることができました。

食と農の科学館

食と農の科学館は、国立研究開発法人「農業・食品産業技術総合研究機構」（通称、農研機構）の施設の一つで、日本の農業と食に関連した新しい研究成果や技術を紹介したパネルや模型などを展示しています。館内は、日本の農林水産業の持続的な発展を支えている研究成果を紹介するエリアと農業技術発達資料館の二つに分かれています。まず初めに、大型モニターで農作業ロボット研究に関するビデオを見ました。無人トラクターやコンバインによる作業や、全自動のいちご収穫機、スマートフォンアプリによるAIを用いた

病害虫診断など、様々な先端技術のお話を聞くことができました。農業の担い手不足問題や、農地の面的集積に向けた取り組み、小麦の穂発芽耐性遺伝子を検出できるDNAマーカーの発見、日本の土壌分布図の調査、実際に私たちが行っている野良イモ対策の雪割作業、つくばにある放射線育種場での突然変異による植物の品種改良や研究をめざす世界最大の野外照射施設「ガンマフィールド」、地球温暖化に対する適応策など展示内容は幅広く、興味を引くものばかりでした。ゲノム技術に関しては、植物のゲノム解析により品種改良や環境適応に力を発揮できる一方で、倫理的な問題があること



から「血圧が調整できるお米」や「花粉症を低減できる麦」などは普及には至らないとのことでした。

その他にも、土壌標本の一つは帯広市の畑のものでした。農業技術以外にも、多様な遺伝子資源を収集・保存するジーンバンク、昆虫バイオテクノロジー研究のカイコによる光るシルク、野生鳥獣被害の防止技術木からアルコールを作り出す研究、近年多発する災害からの農業復興についてなど、数えきれない程の試験や研究について見学することができました。2018年の農業技術10大ニュースでは、新たな育種技術として品種改良に役立つ小麦のゲノム配列の解読に成功したことや、帯広畜産大学も研究に参加したロボットトラクター対応のプラウ自動反転装置の開発、低コストGNSSを使用した野菜用の高速局所施肥機の開発などが取り上げられています。小麦のゲノムサイズは154億塩基対あり、ヒトゲノムの5倍もあるという話にはとても驚きました。

農業技術発達資料館では、とても古い農具から現代の機械まで様々な道具を見ることができました。



よく見ると、古い農具の中に現代の機械にも生かされている技術もあり先人のアイデアに驚かされました。この科学館での見学を通して、たくさんのお研究や実験により得られた成果のおかげで私たちの農業が成り立っているということを実感することができました。

東京都中央卸売市場 豊洲市場

豊洲市場は、2018年に築地市場から移転した水産物や青果物を取り扱う総合市場です。築地市場が80年以上に渡り、安定した生鮮食料品を都民へ供給する役割を果たしてきましたが、老朽化や衛

生上の問題により解体が決定し、2004年7月に「豊洲新市場基本計画」が策定されました。移転予定地の土壌汚染や、移転経費の負担への不満、築地に愛着のある一部の業者などに批判を受けましたが、汚染対策工事を進め、14年の歳月をかけ完成しました。豊洲市場は、東京都や各事業者の事務所などがある管理棟・国内外の青果を集めて取引を行う青果棟・街の魚屋さんやお寿司屋さんが水産物を仕入れに来る水産仲卸売棟・国内外の水産物の取引やマグロの競りを見学できる水産卸売棟の大きく四つの棟に分かれています。

今回は、せりを見学するため早朝に移動し、まずは青果棟を見学



しました。豊洲市場は衛生管理が徹底された閉鎖型施設ですが、一般の人も見学できるように見学通路が設置されています。通路の途中には自動立体低温倉庫が設置されており、ブドウや白菜が保管されています。通路には見学窓が12ヶ所あり、最奥のデッキからは卸売市場を一望でき、せりの様子を見学することができました。また、広大な面積の市場でしたが、カメラのズーム機能を用いて大正メークインを発見することができました。数は少なかったですが、私たちの生産した農産物が豊洲市場にもあることが何よりも嬉しかったです。次に、水産卸売場棟へ移動しました。残念ながら、マグロのせりは終わっていました。リフトでしか運べない程の大きなマグロを見ることができました。



最後に、水産卸売り場棟へ移動し、実際に使われているターレの展示や市場の人が使う様々な道具などを売っている魚がし横丁や仲卸の様子を見ることができました。閉鎖型の市場であることにより通路からの見学でしたが、全国から集まった数多くの農産物や水産物を見ることができ、貴重な体

験になりました。

（株）ロック・フィールド 玉川ファクトリー

最後に、JA帯広大正と取引のあるロック・フィールドの玉川ファクトリーで視察を行いました。工場に向かう前に品川駅構内にあるロック・フィールドの神戸ロッケ、RF1、ベジテリアの店舗を訪れ、実際に商品を買ったように商品が販売されているのを見に行きました。工場は、神奈川県川崎市住宅街の中に位置し、神戸・静岡から届けられる商品パーツを組み立てて製品化し、

首都圏の店舗へ商品供給を行う拠点となっています。主に、生春巻き・ライスロール・キッシュを生産し、他にもお弁当・バックサラダ・サンドイッチなどを作っています。事務所と工場が一体の施設で衛生管理が徹底されており、入り口で手洗い・うがいを行いました。担当の藤さんとご挨拶をし、ご厚意により食堂で昼食を頂きました。当日のメニューは麻婆豆腐・茄子とスープ・実際に店舗で販売されている数種類のサラダ・フレッシュジュースでした。サラダの一つはポテトサラダで、メークインが使用されていました。自社の商品を社食として提供し、食堂内には食の理解を深めるためのポップ、食堂入り口での手洗いの徹底など、食へのこだわりを感じました。食事の後は、事務所まで玉川ファクトリーの概要や特徴の説明を受けました。従業員が350人でそのうち社員は50人、随時150人が二交代制で24時間働いています。生産品目は150種類で安全・衛生管理を徹底し、人材確保を想定した省人化ラインの検証に取り組み、盛り付け双腕ロボットの導入も行っているとのことでした。

その中でも、機械では出来ない生春巻きの作業やキッシュの型取りなど、人にしか出来ない手作業へのこだわりを強く持っていました。説明を受けた後は、製造ラインの見学を行いました。工場用の白衣・帽子・マスクを着用し、エアシャワーで埃を飛ばした後、粘着テープでさらに埃を取り、製造ライン入り口前では徹底した手洗い、除菌や靴の洗浄を行いました。消毒後、まずは生春巻きやサラダの製造ラインを見学しました。先程の説明のように、商品の特性上、ライスペーパーが薄く個体差もあるため、手作業でしか作れないことや日持ちがしないので、パートの



人達が手早く作業をしていました。

また、私たちが品川駅で購入したライスロールも見ることができました。商品の劣化を防ぐために、工場内はもちろんだ商品を積み込みするエリアも温度を一定に保ち、

管理を徹底しているとのことでした。他にもカキフライに使用する

カキは、冷凍ではなくX線検査をした生のカキを使い、パン粉はフレッシュユバン粉を使うなど素材の味を引き出す調理をしていました。

お弁当の製造ラインでは説明のあったロボットが使われており、4本の指で器用に食品をつかみ、並べていました。お弁当やサンドイッチのポテトサラダはメーカーインとのことでした。製造ライン見学の後には事務所に戻り、質疑に応じて頂きました。年間6回の新商品開発や制約を持たずに開発し、製造ラインにおろすことによりお互いに課題を与え、技術を高めていくということ、労働人口が減少してくる中で機械化を進めていかなければいけない中ではあるが、ロック・フィールドでは手作業をし

っかり行うというこだわりも話して頂きました。私たちの農業も労働力については問題を抱えていま

すが、同じように手作業が必要不可欠という点は共通点があると感じました。視察にあたり、社食を共にし、丁寧な工場の説明をして頂き貴重な時間になりました。

終わりに

4日間の国内研修を通して、宇宙技術や様々な専門分野の研究、市場でのせりや食品の製造工場など、私たちの普段の生活や農作業では知ることのできない多くの事を学ぶことができました。また、移動も効率よくでき、とても充実した国内研修でした。今回、研修の機会を与えて頂いたJA帯広大正および、青年部盟友の皆様には感謝申し上げ、国内視察研修の報告とさせていただきます。



大切な3時のおやつ

子どもたちはおやつが大好き。だからこそ、おやつばかり食べて、と悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。

このおやつですが、決して悪いことではありません。子どもの胃は大人に比べて小さいため、一度に食べられる量が少なく、3回の食事だけで必要な栄養を取るのが難しくなります。また、1回の食事で取った栄養を次の食事まで持続できる時間も大人より短くなるため、小まめな食事が必要なのです。わが家を例に挙げると、朝食と昼食の間は4時間ですが、昼食と夕食の間は6時間半も空いています。そこで大切にしていくのが3時のおやつです。

そのおやつで注意しなければならぬのは、甘いお菓子に甘いジュースと、一気に甘い物を取り過ぎないようにすることです。甘い物だらけにしてしまうと、子どもたちの体内



では一気に血糖値が上がってしまいます。すると、体内では、血糖値を下げようとする働きが起き、その後

低血糖になってしまいます。この血糖値の急激な上昇、下降は子どもの体には負担になり、イライラしやすくなることや、脳の成長を妨げてしまうこともあります。理想はおやつもおにぎりなどですが、甘い物を知ってしまった子どもたちには難しい部分もあります。そこで、わが家は干し芋や干し柿を利用していましたが、たまには甘いクッキーやケーキも食べます。そのときは、飲み物は水に、量は少なめにと気を付けています。おやつは、夕食時には空腹でいられるように、おやつから夕食までは3時間以上空けること、量を抑えるということも重要です。そのため、何を食べるかを選ぶのは子どもたち、その量を決めてお皿にのせるのは母とルールを決めています。

おやつは、一日に何度もたらたらと食べてしまうと、食事に影響してしまいますし、何より虫歯の原因になります。しかし、時間と量、回数をおきちんと守れば、子どもたちが楽しみにするおやつは、体にとっても大切な食べ物になります。

平成31年度 青年部海外視察研修報告

【日程】 令和元年12月10日～12月16日

【視察先】 ・クラインマルクトハレ市場 ・ケルテライ・ボスマン農場
 ・ヘルマンズドルファー農場 ・エップ社

【参加者】 ★団長 久保 和行(昭和) ★会計 松本 寿弘(中島) 草森 啓輔(幸一)
 矢野 圭祐(幸福) 木原 享(以平) 道下 祥太(以平)
 上田 雅憲(中島) 若山 貴弘(古舞)

クラインマルクトハレ市場

ポルンハイム地区青空市は、フランクフルトの44行政区の一つで真ん中の地域のベルガー通りであり、規模としては大きい青空市場となります。フランクフルトでは曜日によって地区の青空市場の開催が変わり、ポルンハイム地区青空市は週に2回、水・土曜日に開催される市場となっております。市場の長さは130mになります。青空市場は地元の農家さんが主に出品している市場です。その市場で売られているものは、ほぼ有機栽培であり、農作物や野菜・パン・ソーセージ・ジャムなど様々なものが売られています。特に印象に残ったものは、かぼちゃとじゃがいもです。ドイツではかぼちゃのことを「HOKKAIDO」と言い、実際に「HOKKAIDO」と書いて売られています。これは北海道の種を輸入し栽培したことから名づけられたものだと思います。じゃがいもはドイツ人にとって主食であり、ドイツ国内には108種類のじゃがいもの品種があるそうです。市場にもたくさんのかぼちゃとじゃがいもが売られています。

たが、中には「そうか病」のようなものが見られるじゃがいもが多数ありました。消費者の方は商品の見た目だけでなく、生産者との顔を合わせることで安心して買物ができるのだと感じました。青空市場での視察を終え、公設市場のクラインマルクトハレ市場へ向かいました。クラインマルクトハレ市場は、1897年から続いているフランクフルトの繁華街に位置する活気あふれる市場です。ドイツ語で「小さな市場」と命名された市場で1,500mの敷地の中に60店舗ほどが軒を連ね、様々な食品が売られています。野菜や果物などはその日に収穫・出荷された鮮度の高さもあって、一般客



だけでなく、飲食店のシェフなどの御用達にもなっています。また、ソーセージやチーズなどの加工食品も種類が豊富で、中にはフランスなど隣国から仕入れられた珍しい商品が通常より安価で入手することもできます。惣菜やパンなどテイクアウトのできる店舗が多いことも魅力の一つでした。小さな市場とはいえ、通路は広く日本人の観光客も居てとても賑わっていました。ソーセージなどを扱う精肉店はもちろんのこと、チーズやパン・コーヒー・園芸など、この市場に来たらドイツのすべての食品を購入できるのではないかと思わせるほど大きい市場でした。

ケルテライ・ボスマン農場

この農場はフランクフルトの名物であるアップルワインの製造に携わっています。アップルワインは今から約400年前のフランクフルトでブドウが不作だった年に、ブドウの代わりにリンゴを使用し製造したのが始まりとされています。ブドウと同じ工程で作られており、フランクフルトでしか飲めないワインです。この農場は家

族経営で、1960年に創業されました。20年以上に渡り40種類以上のバラエティに富んだアップルワインを生み出しています。この日はアップルワインの醸造所を見学させて頂きました。説明をしてくれたマルコ・シュティアさんは31歳で、三代目として醸造工場と経営を任されています。この工場には20トンドンプが入って来られる駐車場スペースがあるので、それを有効活用して一般の水やジュース等の流通販売も行っています。ポトルを洗浄してから排出できるよう足元に排水口が配置されており、その一部分はワインの醸造工場に繋がっています。リングを洗浄する際はこの排水溝の一部が使用されます。リングを一昼夜水に漬け込み、汚れとともにエグミも取り除き、綺麗になったリングは粉碎機に入れられます。この粉碎機の中で攪拌しながら粉碎することにより、果汁が出て香りがその中に残ります。1時間におよぶの粉碎が可能とのことで、ブドウや他の果物にも使えるそうです。この機械の中でアップルワインの原材料が完成します。次に、粉碎された状態でパイプを通して別の粉碎機に



移し、更に2時間攪拌することでほぼ果汁のみになります。以前は、粉碎した果実に布をかけてプレスすることで果汁を取り出していました。この機械を導入することで作業がとて簡易化され、製造量も安定したとのこと。その後、果汁のみを貯蔵タンクに移し、機械の中に残ったカスは家畜の餌となります。タンクの中で発酵させるとアルコール分が10%ぐらいまでになるのですが、6%程度で発酵を止めているそうです。ここでは60%は共通のりんごを使用し、残りの40%をりんごの種類や手法を変えて様々な味を生み出しています。貯蔵タンクは8,000Lのものが10個あり、温度を一定に

保つため地下に配置しています。年間約10万Lのアップルワインを製造しているそうです。マルコさんを含めて3人のマイスター資格取得者がおり、その方々の判断でその年に製造するワインの種類や量、使用する貯蔵タンクを決めているとのこと。来年の5月に瓶詰めする予定という製造中のアップルワインをタンクから注いで試飲させてもらいましたが、まだ酸味が強かったです。最終工程として、約100万ユーロの瓶詰め機械を使用して、瓶の洗浄、ラベル貼り、瓶詰め、閉栓をします。この瓶詰め機械は以前使用していたものよりも各工程において10%程度、水の使用を節約できているそうです。販売されているワインは一瓶あたり2〜4ユーロほどで、現地のミネラルウォーターよりも安かったのには驚きました。

ヘルマンズドルファー農場

研修2日目は、ドイツ南部バイエルン州最大の都市ミュンヘンに移動し、ミュンヘン郊外のグロンという町にあるBIO農場ヘルマンズドルファー農場を視察しました。

ヨーロッパではオーガニックのことをBIOと呼び、バイエルン州の基準で化学肥料や農薬を一切使用してはいけないという決まりがあります。この農場の創業者カール・ルードヴィヒ・シュヴァイスフルト氏は35年前の1984年までドイツ北部で6,000名もの従業員を抱えるソーセージやハムを作る大きな食肉加工会社を営んでいました。しかし、保存料や添加物を前掲の大量生産、大量流通という今までのビジネススタイルに対して疑問を持ち、1986年にこの農場を創業しました。

現在の規模は畑80ha、森30haを所有しており、豚を450頭、卵用鶏720羽、肉用鶏1,000羽を飼っているそうです。また、パン工場・チーズ工場・ビールの醸造所・常設のファーマーズマーケットの他にも統のショップといった施設も備わっています。ヘルマンズドルファーのように農畜産物の生産から加工、販売まで行う6次産業化された農場はドイツでは他に例が無いそうです。この農場の特徴として、普通の養豚場では限られたスペースに出来るだけ多くの頭数を飼育する為に尻尾



を切るようですが、この農場では夏でも冬でも基本的には外で飼育するので、スペースに余裕があり豚の尻尾を切ることはしません。また、外での飼育により豚にストレスを与えないので、高品質の豚肉になるそうです。屠殺方法にも特徴があり、温屠体製法という方法で屠殺します。体温が下がらない内にハムやソーセージなどに加工することで肉の風味が残り、肉々しい味になるそうです。バイオガス発電施設もあり、余った内臓や糞尿はバイオガスとして処理され、家畜を余すことなく利用するそうです。この農場で使用される約25

%の電力を賄っています。

敷地内に、楽しそうにしているリアルな2体の白人の蠟人形が置いてある小屋があり、どのような意味があるのか質問したところ、その小屋の中に「インディアンから自分の必要な分だけ殺し食べるが、この白人は乱獲しているのだからに飢え死にするだろう」と農場のモットーが書かれているらしく、創立当初に作られたそうです。またその近くに、「自然の中で一番重要な宝物」と書かれた卵の模型があり、この農場の創業者がいかにか自然や作物に敬意を払っているのが伝わりました。パン工場ではパンを試食させて頂きました。ヘルマンズドルファー農場の商品の全てが無添加で作られており、パンの材料も全てオーガニック栽培で作られたものです。試食したパンは6種類の雑穀をドイツ特有の醗酵法により作られていたもので、穀物が醗酵した時の独特の香りがしました。最後に、豚の首に真珠のネックレスがかけられた絵を見つけたので、その絵の意味を聞くと、創業者が「豚という動物は真珠のネックレスをするのに相応しい」という念が込められてい

るそうです。経営的な利益を追求するのではなく、自然や作物、家畜に敬意を持ちながら農業を営む姿勢にとても感銘を受けました。

私たちも農業を出来ることに感謝し、消費者に安心して食べてもらえる農畜産物を供給し続けるように努力していきたいと思いました。

エップ社

エップ社はミュンヘンから、西に車で1時間ほどの場所に位置するヴィーダーゲルティンゲンにあるコントラの会社です。経営者であるニコラスエップさんは、二代目で1980年から創業しており、当初は200haの委託からスタートし、今現在は20,000haもの農地面積を請け負っており、正従業員14名とアルバイト50名で、主に蒔きつけから収穫、また肥料の施肥から農薬散布までの幅広い部分での農作業を委託されています。ちなみに、従業員アルバイトを含め、メカニック3名を除いた全ての人がオペレーターを行えるとの事です。依頼する農家は酪農家など畜産農家がメインで畑作業全般とバイオガスなどの糞尿処理を

コントラに委託し、酪農家は搾乳などに徹するという形態が多いとの事です。また、機械も大型化されており、牧草を刈るモアコンは幅9.3mの大きさがあり、420馬力のトラクターで1時間に15haの牧草を刈り倒して行くという事で、私たちの地域で利用しているコントラの約3倍のスピードで処理されています。サーピス料に関しては、作業内容によって価格が設定されており、例えばデントコーンの収穫で、1ha当たり約185ユーロ(約22,000円)で、整地であれば約55ユーロ(約6,500円)となっています。エップ社では様々な機械や設備を見学しながら、たくさん質問に答えていただきました。初めに見せていただいた機械は緑肥の種を蒔く機械で、日本爪のカルチベータの後ろに種のみを入れるタンクが付いたドリルのような機械でした。エップさんはこの機械にヒマワリ・カラシ類・クローバーなど8種類の緑肥を混ぜて、1時間あたり4〜5ha蒔くと話していました。緑肥の種類に関しては作物や土壌環境に応じて変えているそうです。次に見せていただいたのは、大豆の収穫



機でした。クラーズ社の大型コンバインで収穫しており、この小粒大豆は家畜の飼料に使われるそうです。収量に関しては、1ha当たり約4〜5t（10a当たり約6.7〜8.3俵）と十勝で作付けしている品種よりも多いようでした。また、この大豆を播種するのに使用している機械はレムケン社のsoi-air 8という真空播種機で、価格はおよそ約35,000ユーロ（約4,235,000円）だそう。エップさんは昔ながらの播種機だと話していました。この機械は年間に約500haほど使用し、

パワーハロー部分の爪は年に1回交換するそうです。この機械は小麦の播種にも使用しているという話から、小麦の収量や管理方法に聞かされた。この質問にも答えていた。聞きかたは、収量に関しては1ha当たり約12〜14t（10a当たり約20〜23俵）、播種量に関しては1ha当たり170kgと収量・播種量ともかなり多く驚きました。また、成長抑制剤を散布することや年に2〜3回の追肥を行うなど我々と共通する部分もあったのが印象的でした。ここまで話を聞いた中で、

私たちの地域のようにピンポイントの作業（デントコーンの収穫や大豆の収穫、心土破碎など）を請け負うというコントラのイメージとは違うという印象を受けました。エップ社では畑作りから播種、管理から収穫、後処理、さらには圃場の管理までシーズンを通じて作業を行い、すべてを自分の畑として責任をもって請け負っているようでした。この地域では主に酪農・畜産業と畑作両方を営んでいる農家が多く、ほとんどは家族経営であり所有面積は約50〜60haだそうです。この会社を視察して、もしかしたら私たちも近い将来、今と

は違う経営形態になっていたり、新しい農業委託専門会社の形があるかもしれない、そんな可能性に触れたような気がしました。

終わりに

ドイツでの研修を終えて、日本からの飛行時間は12時間弱と移動に少し苦労はしましたが、とても刺激的で貴重な経験を得ることができた研修となりました。

5日間ドイツに滞在し感じたことは、ドイツはとても労働に関してシビアな国だと感じました。ドイツは閉店法という法律があり、基本的に日曜日はお店が休みで、店の閉店時間までに従業員が帰宅するなど、労働に関して他にもたくさん法律があるそうです。この法律は私たちにあっては賛否両論あると思いますが、体が資本の私たちにあって労働時間はとても重要でこれからの働き方についても考えていかなければならないと感じました。視察以外にもシュパーテン醸造所というビール工場、ダッハウ強制収容所といった観光地にも赴き、ドイツの方のビールへの考え方、ナチスドイツの時代

の強制収容所の悲惨な事実やドイツの歴史や文化に触れ、私たち一人一人が別々の考え方をもち、たくさんさんの見聞を広げることができました。

最後にこの研修でお世話になりました添乗員の方をはじめ、現地のガイド、通訳の皆様、そして帯広大正農協と大正青年部の皆様、この研修に際して携わっていただいたすべての皆様に参加者一同感謝を申し上げます。ありがとうございます。



● 高血圧

高血圧とは

収縮期血圧が140 mm Hg以上、あるいは拡張期血圧が90 mm Hg以上を高血圧といいます。どちらか一方でも超えれば高血圧です。血圧が高いということは、血管の壁に内側からかかる圧力が通常より大きく、血管に常にストレスのかかった状態をいいます。このことが多くの臓器障害の原因となります。



高血圧の合併症

血圧が高いと何が問題なのでしょうか？
血圧が高いと血管に負荷がかかります。この状態が長期に及ぶと血管が硬くなりますが、これを動脈硬化といいます。血管はすべての重要臓器に存在します。そのため血圧が高いと全身のさまざまな臓器障害を引き起こします。特に重要なのが、脳（脳出血、脳梗塞）、心臓（心筋梗塞、狭心症）、腎臓（腎不全）といった命にかかわる部位です。

1) 脳に生じる合併症

・脳梗塞 / 脳出血 / くも膜下出血

2) 心臓に生じる合併症

・狭心症 / 心筋梗塞 / 心肥大 / 心不全

3) 腎臓に生じる合併症

・蛋白尿 / 慢性腎臓病 / 腎不全

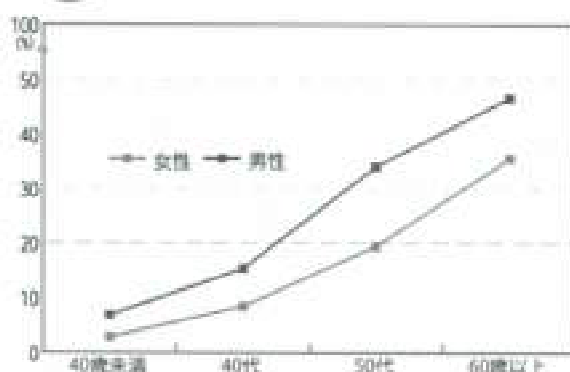
4) その他

・網膜出血 / 網膜静脈閉塞症

・大動脈解離 / 大動脈瘤

・水腫（むくみ）

① 当院健診センターにおける血圧高値の割合



高血圧の頻度

現在日本における高血圧の患者数は推定で4,300万人いるといわれています。そのうち治療を受けている方は60歳代で50%以上、70歳代で60%以上です。図1のグラフは当院健診センターにおける2015年のデータです。高齢になるほど高血圧の頻度が増加していることがわかります。

人間ドックのすすめ

食生活の欧米化や運動不足により、高血圧、糖尿病、心臓病、がん、脳卒中などの生活習慣病が増加しています。人間ドックを受診することでご自身の健康状態を確認し、病気の予防、早期発見に役立てることができます。

人間ドックのご相談、個人でのご予約は：帯広厚生病院 健康推進課にお電話ください

電話 0155-65-0133（予約専用） 受付時間 平日8:30～17:00

団体で申し込まれる方：職場の健診担当者にお申し込みください



JA 北海道厚生連帯広厚生病院

〒080-0024

北海道帯広市西14条南10丁目1番地



第72回 定期総会 開催

3月17日、第72回定期総会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面議決で決議を行う事になりました。

書面議決書の提出により、第1号議案から第5号議案まで審議が行われ、すべて承認されました。

議案終了後には、選考委員の選出により、新部長に愛国・幸一支部の瀧上恭章さんが選ばれました。

また、別日には、平成31年度退部者へ山部長より記念品が贈呈されました。



就任にあたり

JA 帯広大正青年部
部長 瀧上 恭章

強い日差しが日に日に増してきましたが、まだ肌寒い日々が続いています。雪解けが進み、本格的な農作業が始まりを迎え、皆様に於かれましては何かとご多忙の毎日をお過ごしのことと思います。

この度、第72回定期総会に於いて令和2年度部長に選任されました。大役を務めさせて頂く事となり、身の引き締まる思いです。今年度は7名の新たな盟友が加わり、総盟友数64名でのスタートとなりました。盟友をはじめ、諸先輩方や事務局のお力添えとご指導を頂き、役員と協力して本部事業に取り組んで参ります。

現在農業を取り巻く情勢は、日欧EPAやTPP11の発効、そして今年1月には日米貿易協定が結ばれるなど、市場開放の波が押し寄せている状況にあります。

また、現在新型コロナウイルスが猛威を振い、私たちの生活に様々な影響を与えています。このように先行きが不安な時代の中、私たち青年部に必要なことはその時に応じた判断力を身に着けることほもちろんの事、まず自分自身が「笑顔」で明るくいることが大切だと思えます。大変な時こそ笑顔を絶やさないことで、家族や仲間と共に普段の生活や営農をより良いものにしていけるのではないかと考えます。

今年度から青年部は、令和年度に切り替わります。良いスタートが切れるよう青年部だけでなく地域の後継者として尽力していきたいと思えます。

最後に、農協青年部活動により一層のご理解とご協力を賜りますようお願いの皆さまを始め、農協並びに関係機関各位にお断い申し上げます。また本年も豊穡の出来秋を迎えられますようご祈念申し上げます。就任の挨拶とさせて頂きます。

帯広市内二農協青年部合同視察研修会



12月4日～5日の2日間で帯広市内二農協青年部合同視察研修会が行われました。

最初の研修先は苦東厚真発電所で、ブランチアウトの記憶がまだ新しい中、日頃見ることの出来ない施設内を見学させていただきました。私たちの生活に欠かすことのできない「電気」を届けるため、この発電所では日夜フル稼働の従業員三交代制で尽力されているそうです。海外からの輸入石炭を使用した火力発電の発電所で北海道胆振東部地震発生当時の様子や大規模停電が起こった理由などのお話を聞かせていただきました。

次に、千歳市防災学習センターそなえるを見学しました。「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに様々な防災の疑似体験ができる施設です。災害に見舞われたとき何をすべきかを改めて考え直す大きなきっかけをいただきました。

その後の懇親会では、大正、川西関係なく仕事やプライベートの話などとても盛り上がり、研修とともに有意義な時間を過ごすことができた2日間でした。

広尾線ブロックスポーツ交流会

1月10日、スズランボウルにて広尾線地区スポーツ交流会が行われました。今年度はJAさらべつ青年部が当番単組ということで企画、運営をして頂き、ボウリングを行いました。

レーンごとに各単組の混合チームで競技を行い、出場選手の平均スコアによって各単組が順位を競いました。初めはチームで初対面の盟友も多いことから緊張気味でしたが、ボウリングが始まるとストライクが出る度にハイタッチをするなど、すぐに仲も打ち解け笑いの絶えないとても盛り上がった交流会となりました。そして各単組の平均スコアの結果、大正青年部は見事準優勝となりました。

競技終了後は、フードスタジアムにてボウリングを一緒に行ったチームごとに席に座り懇親会を行い、食事をしながら他単組の盟友たちと営農の話や、青年部活動の話等で情報交換をして交流を深めました。

今回の交流会を通して、普段あまり会う機会の少ない他単組の盟友と新陸を深めることができ、大変貴重な時間となりました。



第45回 冬期研修会

1月21日(火)に大会テーマ「ステップアップ」と題し、第45回JA帯広大正青年部冬期研修会がホテル日航ノースランド帯広にて行われました。

基調講演では、「十勝地方の気象特性と、災害をもたらす現象の予測について」と題し、講師に気象庁帯広測候所国土交通技官の野村達郎氏に来て頂き、「天気予報ができるまでの仕組みや近年の異常気象の原因などを知り、今後の地球温暖化や異常気象に我々農家がどう対応していくか考えさせられるものになりました。」

ポリシープック支部活動発表では、アイスクリームの試食が行われるなど各支部の特色が出た発表となり、消費拡大推進事業はメークインまつりでの地ビール販売や大正小学校での食育活動、国内海外視察研修も普段訪れる事が無い場所での視察を行い見聞を広める事ができました。

JA共済推進事業では「共済の必要性について考える」今入っている保障は万全ですか？」と題

し講師の佐野巨氏に様々な共済の種類や仕組みを教えて頂き、我々も年々環境が変わって行く中での共済を見直す良い機会となりました。

その後の懇親会でも退部者や農協役員の方々と大いに盛り上がり、JA帯広大正青年部のステップアップとなる冬期研修会になりました。



未来を拓く協同組合 SDGsとJA

未来を拓く協同組合
SDGsとJA
 監修=JCA(日本協同組合連合機構)

SDGsとは

近年、SDGs(エスディーゼーズ)という言葉が世界中で注目を集めています。SDGsとは、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略称で、2015年に国連で採択された国際社会の共通目標です。貧困や飢餓、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

協同組合はこれまでも貧困や飢餓などの問題に取り組んできたことから、国連によりSDGsを達成するための重要な組織として位置づけられています。JAグループは第28回JA全国大会で、自らの事業・活動がSDGsの達成に貢献するものであることをふまえて、JAグループの取り組みの成果を広く発信することを決めました。JAも地域社会の課題解決に努めるとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

SDGs17の目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困	2 健全な食料システム	3 健康と福祉	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業とイノベーションに力をかかろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 持続可能な消費と生産
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 公正で包摂的な社会を	17 パートナーシップで目標を達成しよう	18 平和と公正

- 全国のJAや空想など協同組合が取り組む主な取組み**
- 2 飢餓をゼロに⇒国内における農林漁業の振興と食料の安定供給、こども食堂・フードバンクの運営、移動購買
 - 3 すべての人に健康と福祉を⇒へき地医療の提供、高齢者・障がい者等のケア事業、介護予防活動、子育て関連事業
 - 11 住み続けられるまちづくりを⇒移動購買の実施、助け合い活動、災害救助活動
 - 12 つくる責任つかう責任⇒食の安全確保と情報提供
 - 17 パートナーシップで目標を達成しよう⇒国内外における協同組合間の連携
- ～など

JCA監修1時間版より作成 SDGsと協同組合[1]をもとに作成

🌱 繋がろう、大地と地域のみらい。

女性部 第67回通常総会開催



第57回 JA帯広大正女性部通常総会



2月20日、大正トレーニングセンターにおいて、第67回女性部通常総会が開催されました。

JA女性部組織綱領朗唱後、道見智香子部長の挨拶に続き、森専務の挨拶、十勝農業改良普及センター 地域係長 枡谷氏に祝辞を頂き、議長にはあいこく支部の中井絹江さんが選出され議事に入りました。慎重な審議の結果、全ての議案が承認され、役員改選により、新部長に昭和支部の飯沼隆子さんが選任されました。

総会終了後には、講師にとかも広域事務組合 帯広消防署 教諭 課長補佐である佐々木寿文氏を迎え、「いざという時のために」と題して講演が行われました。

講演では、応急手当の方法や知識についてのお話しをしていただき、梱包用ラップやアルミックスシートを使った実践も行われました。今回の講演を通し、緊急時や災害時の予防や改善について改めて考える機会となり、大変有意義な時間となりました。



就任にあたり

JA帯広大正女性部
部長 飯沼隆子

冬の名残も去りやまめ時候、暖かな春の光が春耕の時期を間近に迎えようとしている今、部員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、部長という大役を務めさせていただくこととなり責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いでいっぱいですが、微力ではございますが、役員の皆様、部員の皆様、事務局、そして諸先輩方のお力添えとご指導を頂きながら、今年度の事業に取り組んで参りたいと思っております。

近年、温暖化による天候不順の災難は作物への影響を及ぼし、今後どのような対策をしていくのか生産者にとっては大きな課題でもあります。さらに消費税が10%に引き上げとなり、全ての面において私達国民の生活への不安は隠しきれません。こうした時代の中、農業経営者にとって農業を取り巻く情勢は厳しい位置に置かれています。また、今年は新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、イベントやセミナーの中止、学校の休校、公共施設やレジャー施設の閉鎖などで、これまで以上に国の方針が厳しい方向へ転じることで私達の生活への影響が大きくなっています。

私達女性部は、農業経営パートナーでもあり、一番身近な消費者として安全・安心な農畜産物を生産、提供すると共に、家族の健康を願う心豊かな生活を築く重要な役割を担っています。

どのような環境に於かれても努力を惜しまず共に考え知恵を出し支え合い、意識の向上を図るためにも部員の皆様に参加していただくような、魅力ある事業内容で役員一同進めて参りますので、皆様にはご理解、ご協力をお願い致しまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

第54回定期総会開催



2月18日、農協第
一会議室において、
第54回定期総会が開
催されました。

若妻会（フレッシュ
ユミス）要旨朗唱後、
草森美佳会長の挨拶
に続き、吉田組合長
の挨拶、道見智香子
女性部長に祝辞を頂
き、議長には桜木・
幸一・愛国・加賀支
部の道端美佳さん、
以平・古舞・幸福・
泉支部の佐伯美佳さ
んが選出され、議事
に入りました。慎重
な審議の結果、全て
の議案が承認され、
役員改選により新会
長に、桜木・幸一・
愛国・加賀支部の小
森奈穂さんが選任さ
れました。



就任にあたり

JA帯広大正女性部フレッシュユミス
会長 小森 奈穂

穏やかな日差しにいつしか春の訪れを感じる季節となりました。皆様におかれましては何かとお忙しい日々をお過ごしのことと想います。

この度、役員改選におきましてフレッシュユミス会長という大役を務めさせていただくこととなりました。

重責を感じ不安な気持ちで一杯ですが身を引き締め、会員の皆様、事務局、諸先輩方の御指導を頂きながら、役員、支部長と共に今年度事業に精一杯取り組んで参ります。

昨年は春先の強風や干ばつにより広範囲に渡り農作物への被害が発生するなど、年々目まぐるしく変化する気候に臨機応変に対応していかなければならないと考えられます。

日本の農業を取り巻く環境は先行き不透明な情勢下にあります。こうした中、安定した農業経営、安心且つ安全な農畜産物の提供、私達フレッシュユミスも農業経営のパートナーとして支え合い、日々精進し力にならなければと思います。また妻として母として家族の健康はもちろんのこと、子ども達には食べることの興味や食べる楽しさを育むため、一生懸命食育活動にも取り組みたいと思います。

今年度は5名の新入会員を迎え2名での活動になります。近年、会員数は減少傾向にあります。家業、家事、育児の合間に、フレッシュユミスでの様々な活動を通じて楽しく交流し学び合い、共に分り合える、より一層活気に満ちた活動を目指していきます。

最後になりますが、日頃よりフレッシュユミス活動に対し積極的に参加はもとより、御家族の皆様への御理解と御協力をお願い申し上げますと共に、皆様の今後益々の御発展と御健勝をお祈り申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

令和2年度

農事組合長・青年部・女性部・フレッシュミズ新役員

- あいこく
中山 勇司
- 幸一
今井 宏
- 加賀
横川 和博
- 昭和
橋本 隆博
- 幸福
梶 恵司
- 桜木
井上 慎也
- 以平
梅村 洋
- 中島
松本 圭司
- 泉
深田 武雄
- 古舞
大山 昭洋

【農事組合長】



【青年部新役員】

- | | |
|-----|-------|
| 部長 | 瀬上 恭章 |
| 副部長 | 小森 規央 |
| 書記長 | 松浦 聖矢 |
| 理事 | 林 優作 |
| 〃 | 辻 正和 |
| 〃 | 宮浦 聖一 |
| 〃 | 廣山三四朗 |
| 〃 | 山田 修平 |
| 〃 | 戸井 勢雄 |
| 〃 | 山 太一 |
| 監事 | 鶴野 寿正 |

【後列左より】戸井さん、山田さん、廣山さん、宮浦さん、林さん、辻さん
 【前列左より】鶴野さん、松浦さん、瀬上さん、小森さん、山さん



【女性部新役員】

- | | |
|---------|-------|
| 部長 | 飯沼 隆子 |
| 副部長 | 佐藤 志保 |
| 〃 | 牧野 祐子 |
| 事業推進部会長 | 友田 尚美 |
| 理事 | 松浦 啓子 |
| 〃 | 斉藤 和美 |
| 〃 | 岸上 紀 |
| 〃 | 黒田 由枝 |
| 監事 | 山崎いづみ |

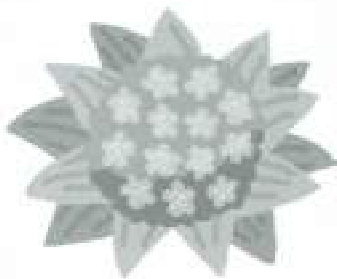
【後列左より】山崎さん、黒田さん、斉藤さん、松浦さん、岸上さん
 【前列左より】友田さん、飯沼さん、佐藤さん、牧野さん

【フレッシュミズ新役員】



- | | |
|-----|-------|
| 会長 | 小森 奈穂 |
| 副会長 | 梶 佑香 |
| 〃 | 廣山 梓 |
| 監事 | 松浦 琴乃 |
| 〃 | 森 美裕子 |

【後列左より】森さん、松浦さん
 【前列左より】梶さん、小森さん、廣山さん



JAの特定重度疾病共済
身近なリスクにそなえ

NEW 身近なリスクに
そなえ
特定重度疾病共済

- ご契約**
- 加入年齢:30歳
 - 共済金額:300万円
 - 共済期間:80歳満了
- 各疾病区分のお支払事由に該当した場合、特定重度疾病共済金を一時的として各疾病区分につき1回ずつお受けいただけます。(最大4回)

各疾病区分のお支払事由に該当したとき
特定重度疾病共済金として
300万円 (最大4回)

この共済は、病に際しかかる治療費ではありません。
特定重度疾病共済金とは別にお支払いした場合には、ご契約は有効です。

30歳ご加入 → 80歳満了

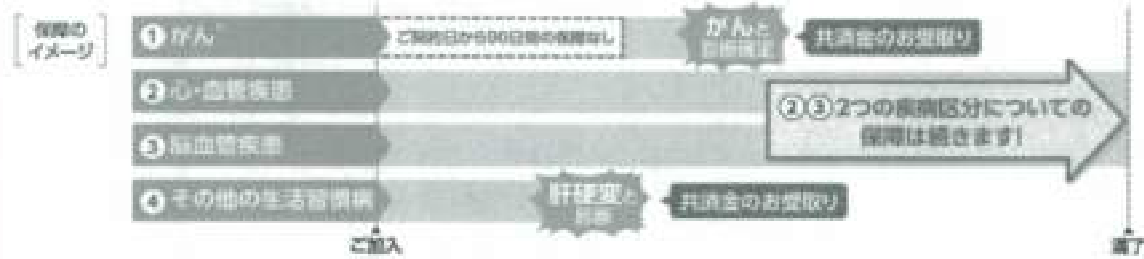
三大疾病をはじめとした**重い生活習慣病**に備える共済です。

ポイント① 三大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)に加えて、
三大疾病以外の「心・血管疾患」や「脳血管疾患」、
さらには「その他の生活習慣病」まで、**幅広く保障**します。

- | ① がん | ② 心・血管疾患 | ③ 脳血管疾患 | ④ その他の生活習慣病 |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・悪性新生物 ・上皮内新生物 ・癌腫瘍 | <ul style="list-style-type: none"> ・急性心筋梗塞
<small>(急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞)</small> ・急性心筋梗塞以外の心・血管疾患
<small>(狭心症、不整脈、高度性心室速等*、大動脈瘤のよび破裂等)</small> | <ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中
<small>(くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞)</small> ・脳卒中以外の脳血管疾患
<small>(脳動脈瘤、くも膜下出血、高血圧性脳出血)</small> | <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病 ・肝硬変 ・慢性じん不全 ・慢性すい炎 |

*特定重度疾病共済の支払対象である「心・血管疾患」には「高度性心室速」「高度性心室速」といった高度性心室速に該当する心・血管疾患が含まれますが、軽微な「高度性心室速」は支払対象とはなりません。

ポイント② ①がん、②心・血管疾患、③脳血管疾患、④その他の生活習慣病
の4つの区分ごとに、共済期間を通じてそれぞれ1回、
最大で4回共済金をお受取りになれます。



*がんに該当する病状(病期)は、ご契約日から90日以内の発症とし、これより前に加入共済金ががんと診断確定された場合には、がんご加入日から発症の日を起算いたします。なお、がん以外の3つの疾病区分は加入共済金の支払開始についてはご契約日から発症します。

ポイント③ まとまった一時金で受け取れるため、治療費や収入減少など、
継続的な治療による様々な経済的負担に備えることができます。

- | 初期費用 | 退院後にかかる費用 | その他の費用 |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・入院費用、手術費用 ・入院、手術以外の一時的な出費
<small>(テレビカード代、敷替えのクリーニング代等)</small> | <ul style="list-style-type: none"> ・通院費用 ・リハビリ費用 ・投薬費用 | <ul style="list-style-type: none"> ・収入減少への補てん ・家族等によるお見舞いや
付添いにかかる費用 ・快気祝い |

この共済は補償や保証はいたしません。ご契約には、任意でがん保険(がん共済)も必ずご契約ください。ご契約の際は、任意でがん保険(がん共済)も必ずご契約ください。ご契約には、任意でがん保険(がん共済)も必ずご契約ください。

●お問い合わせは… **JA帯広大正 信用部 共済課 0155-64-4596**

新入職員です！よろしくお願いします！！

今年度は、9名の新入職員が採用されました。JAマン・JAウーマンとして一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します！！

令和2年度4月1日



かが 陽介

【所属部署】生産販売部 畜産課 畜産係
【生年月日】昭和62年8月19日
【出身地】新得町
【出身校】帯広南商業高等学校

【抱負】社会人15年目になりますが、農協職員としては新人です。過去の経験を活かしながら一日一日が勉強という事を念頭に仕事を覚えていきたいと思っております。皆さんとより良い日々を過ごせたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



むらもと 宏州

【所属部署】営農振興部 営農振興課 営農振興係
【生年月日】平成8年3月20日
【出身地】札幌市
【出身校】酪農学園大学

【抱負】今年度から働かせていただく村本 宏州です。新たな環境で不安はたくさんありますが、早く一人前になれるよう精一杯頑張ります。また、私の長所である粘り強さを武器に努力していきますので、どうぞ宜しくお願い致します。



あべ 聡太

【所属部署】生産販売部 農産課 農産係
【生年月日】平成9年11月29日
【出身地】帯別町
【出身校】旭川大学

【抱負】大学まで続けた野球で培った忍耐力と元気を活かし、当たり前のことを当たり前に行える社会人になります。わからない事が多いと思いますが、早く仕事を覚えられるように日々精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



こがた 卓大

【所属部署】生産販売部 企画課 企画係
【生年月日】平成10年1月27日
【出身地】帯広市
【出身校】北星学院大学

【抱負】大学生から社会人と環境が変わり慣れないこと、わからないことだらけですが、1日でも早く仕事を覚え、組合員さんのお役に立てるよう一生懸命頑張っていけますので、これからどうぞ宜しくお願い致します。



たかはしじゅんのすけ
高橋淳之介

【所属部署】生産販売部 農産センター係
【生年月日】平成11年8月30日
【出身地】音更町
【出身校】尚美ミュージックカレッジ専門学校

【抱負】私は専門学校で音楽の勉強をしていました。農業についてはわからないことが多いのですが、一つ一つ勉強していき、JA職員として農業の発展に努めたいです。一生懸命頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



なかやたいすく
中谷 恒太

【所属部署】生産販売部 青果課 青果係
【生年月日】平成13年2月28日
【出身地】帯広市
【出身校】北海道農業協同組合学校

【抱負】私は北海道農業協同組合学校で1年間必要となる資格や知識について学んできましたが、わからないことや戸惑う事も多いと思います。1日でも早く仕事を覚え、組合員の方々のお力になれるよう日々頑張りたいと思います。



こげらゆか
小原 由佳

【所属部署】信用部 共済課 共済係
【生年月日】平成9年6月10日
【出身地】帯広市
【出身校】北海道ハイテクノロジー専門学校

【抱負】一日でも早く業務になれるよう笑顔を保ち、どのようなことに対しても受け身ではなく積極的に取り組ませて頂きます。初めてのことはわかりで至らない点は多くあると思いますが、ご指導のほど宜しくお願い致します。



すぎもとひろのり
杉本 妃鞠

【所属部署】信用部 金融課 金融係
【生年月日】平成13年7月6日
【出身地】足寄町
【出身校】帯広北高等学校

【抱負】この度は、大正農協に勤めさせて頂ける事になり大変嬉しく思っています。1人の社会人として認めて頂けるよう、明るく元気でまじめに仕事を頑張っていきたいと思います。1日でも早く貢献できるよう努力して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



たかはしあや
高橋 あや

【所属部署】営農振興部 営農振興課 営農振興係
【生年月日】平成13年11月13日
【出身地】中札内村

【出身校】帯広南商業高等学校
【抱負】新しい環境で至らないところも多々あると思いますが、いち早く仕事を覚えてたくさんの人のお役に立てるように頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

理事会報告

第11回理事会 12月13日

【報告事項】

- 第1 子会社の経営状況について
- 第2 仮決算内容について
- 第3 余裕金の運用状況について
- 第4 組合員の異動について
- 第5 JAネットワーク十勝の動きについて
- 第6 帯広空港ターミナルビル株式会社譲渡手続きについて
- 第7 経営所得安定対策に係る事務手続きについて
- 第8 割賦貸付金の借入申込みについて
- 第9 平成30年産 契約大豆本精算について
- 第10 令和元年産 契約大豆概算払について
- 第11 令和元年産 種子長いも選別料の徴収について
- 第12 農業売価変更について

【協議事項】

- 議案第1号 令和2年度 事業計画および固定資産取得整備計画について
- 議案第2号 令和元年度 固定資産取得（管理部門）について
- 議案第3号 令和元年度 冬期農事組合懇談会の実施について
- 議案第4号 出資金の異動について
- 議案第5号 令和元年度 年末年始の業務日程について
- 議案第6号 令和2年度 賦課金の賦課および徴収方法について
- 議案第7号 共同計算に係る総合的な監督指針改正への対応について

第12回理事会 12月26日

【報告事項】

- 第1 組合員の加入及び出資金の異動について
- 第2 帯広大正農協営農推進協議会について
- 第3 令和元年度 原料てん菜受渡実績について
- 第4 令和元産 てん菜代金の精算状況について
- 第5 割賦貸付金の借入申込について
- 第6 令和元年度 農産物集荷取扱状況について
- 第7 令和元年度 食用・加工用馬鈴薯選別出荷状況について
- 第8 令和元年度 長いも選別出荷販売状況について
- 第9 令和元年度 民間流通麦二次概算金の精算について
- 第10 平成30年産 民間流通麦に係る精算について
- 第11 平成30年産 民間流通麦本精算について
- 第12 平成29・30年産 小麦精算単価について
- 第13 令和元年度 生乳生産状況について

第14 ジャガイモシストセンチユウ土壤検診結果について

第15 令和元年度 農配肥料工場冬季操業実績について

第16 令和2農業年度 農業奨励対策について

第17 従業員の年末手当支給について

第18 職員の採用内定について

【協議事項】

- 議案第1号 農協運営総合審議会への諮問について
- 議案第2号 組合員協定のJASTEM普通貯金（営農口）へのデータ連動について
- 議案第3号 出資金の異動について
- 議案第4号 平成30年産 澁源馬鈴薯本精算について
- 議案第5号 令和2年度 安全安心な農畜産物づくり推進方針について
- 議案第6号 令和2年度 大豆収穫支援事業実施要領について

議案第7号

令和2年度 固定資産取得計画

(生産販売部) について

議案第8号

令和2農業年度 農薬取扱要領

について

議案第9号

購買業務規程の一部改正について

議案第10号

令和元年度 固定資産取得計画

(購買部) について

第13回理事会 1月27日

【報告事項】

第1 令和元年度 第3四半期定期監査について

第2 会計監査人再任の決定について

第3 会計監査人の報酬等の決定

に関する同意について

第4 12月末仮決算について

第5 組合員勘定の集計について

第6 農畜産物の生産物融資について

第7 理事との利益相反取引について

第8 令和元年度各種資格認定試験結果について

第9 組合員の異動について

第10 経営所得安定対策に係る事務手続きについて

第11 令和元年度 てん菜貯蔵手

当の支払いについて

第12 割賦貸付金の借入申込について

第13 令和2年度 小麦作付面積

について

第14 令和元年度 農産物選別出荷

状況について

第15 令和元年度 生乳生産状況

について

【協議事項】

議案第1号

令和元年度 冬期農事組合懇談

会主要な意見要望及び回答について

議案第2号

令和2年度 内部監査計画について

議案第3号

第73回通常総会の開催日・開催

場所の決定について

議案第4号

次年度の営農に対する営農強化

対策費の支払について

議案第5号

出資金の譲渡について

議案第6号

令和元年度 固定資産取得計画

(購買部) について

議案第7号

従業員の期末手当の支給について

て

第14回理事会 2月17日

【報告事項】

第1 子会社の経営状況について

第2 農協運営総合審議会について

第3 令和元年度 決算見込みについて

第4 令和元年度 第4四半期の

棚卸業務について

第5 令和元年度 第4四半期定期

監査の日程について

第6 組合員・出資金の異動について

第7 割賦貸付金の借入申込について

第8 令和元年度 農配肥料工場の

経費算入について

第9 従業員に対する期末手当の

支給について

【協議事項】

議案第1号

令和2年度 役員報酬の答申について

議案第2号

第73回通常総会開催日までの日程について

議案第3号

年金受給者金利優遇定期貯金の

取扱いについて

議案第4号

固定資産の除却について

議案第5号

出資金の減口・譲渡について

議案第6号

第44回帯広大正メークインまつ

りについて

議案第7号

令和2年度 更新用種子馬鈴薯

配付要領について

議案第8号

令和2く4年産 種子馬鈴薯事故

取扱細則について

議案第9号

令和2く4年産 種子馬鈴薯環境

浄化対策について

議案第10号

令和2く4年産 種子馬鈴薯価格

算定方式について

議案第11号

令和2年度 種子馬鈴薯推進維持費について

【協議事項】

議案第1号 幕別町農業委員会委員の推薦について

議案第2号

令和2年度 事業計画について

議案第3号

定款の一部変更について

議案第4号

信用事業規程の一部変更について

議案第5号

各種規程類の廃止 制定及び一部改正について

議案第6号

令和2年度 貸付金利率の最高限度について

議案第7号

令和2年度 信用供与等の最高限度額について

議案第8号

出資金の譲渡について

議案第9号

令和元年度 春出食用馬鈴薯取扱要領について

議案第10号

令和2年度 食用馬鈴薯取扱要領について

議案第11号

令和2年度 特別栽培メーカー向け取扱要領について

議案第12号

令和2年度 畜産物取扱要領について

議案第13号

令和2年度 固定資産取得計画（生産販売部）について

【報告事項】

第1 令和2年度 組織機構改革について

第2 令和元年度 資産自己査定結果及び貸倒引当金の計上について

第3 令和元年度 各種資格認定試験結果について

第4 組合員の異動について

第5 経営所得安定対策に係る事務手続きについて

第6 割賦貸付金の借入申込について

第7 令和元年度 農産物選別出荷状況について

第8 令和元年度 生乳生産状況について

第9 配送課税整油の割戻しについて

第10 令和2年度 トラック備車契約について

第11 職員の退職について

第12 準職員の正職員への登用内定について

第13 職員の採用内定について

【協議事項】

議案第1号 規定類の一部改正について

議案第2号

当組合における取引のリスク評価書の一部改正について

議案第3号

決算関係書類（第78回通常総会提出議案）の提出について

議案第4号

令和2年度の余裕金運用について

議案第5号

令和2年度 北海道信連からの借入限度額について

議案第6号

理事との利益相反取引に関する包括事前承認について

議案第7号

理事との利益相反取引に係る貸付について

第15回理事会 2月26日

【報告事項】

第1 子会社の経営状況について

第2 令和元年度 下半期経営定期点検結果について

第3 組合員・出資金の異動について

第4 令和元年度 てん菜品代金の精算について

第5 割賦貸付金の借入申込について

第6 令和元年度 農産物選別出荷状況について

第7 令和元年度 生乳生産状況について

議案第8号
令和2年度 作業免許取得推進
実施要領について

議案第9号
令和2年度 固定資産取得計画
(生産販売部) について

議案第10号
退職職員に対する功労金(特別
加給退職金)の支給について

お世話に
なりました

川岸 尚俊



令和2年3月31日 退職
購買部付(購買部長兼大正給油所
長兼農機管理センター総括兼食の
安全安心対策室担当)
令和2年4月1日 再雇用

この度、3月末日をもちまして
定年を迎え退職致しました。
昭和58年に奉職以来36年余の永
きに亘り、組合員の皆様を始めご
家族の皆様からも多大なるご支援
とご厚情を賜り厚くお礼を申し上
げます。
今後は再雇用制度により引き続
きお世話になりますが、今まで同
様にご指導をいただきます様お願
い申し上げます。
末筆ながら皆様方のご健勝をご
祈念申し上げます。ご挨拶とさせてい
ただきます。

お世話に
なりました

小島 紀美



令和2年3月31日 退職
購買部付(購買部生産資材課生産
資材係担当)
令和2年4月1日 再雇用

この度、3月末日をもちまして、
昭和53年奉職以来42年間勤めさせ
て頂きました当農協を定年退職致
しました。
長い歳月、大過なく勤めること
ができましたのも、ご厚情頂きま
した組合員の皆様のお陰と深く感
謝致しております。
今後は、再雇用制度により引き
続き、お世話になります。
今後とも、変わらぬご厚誼のほ
ど、よろしくお願ひ申し上げます。
まずは、略儀ながら退職のご挨拶
とさせていただきます。

お世話に
なりました

令和2年3月31日 退職

草森 雅志

管理部付(メーカーイン産業協出向)

稲垣 和弘

生産販売部 農産センター係長

高橋 麻衣

管理部 管理課 経理係
(クミカン担当)

熊倉いずみ

生産販売部 農産センター係

5月

今月のあなたの運勢 モナ・カサンドラ

牡羊座 3/21～4/19



全体運 穏やかな運勢ですが、ちょっぴり物足りなさも。欲しい物リストを作り買物の予定を立てるとやる気がUP

健康運 マイペースで楽しめる運動がお勧め

幸運の食べ物 クロダイ

牡牛座 4/20～5/20



全体運 パワフルに過ごせます。これと思った物事に集中的に取り組んで。友人たちと市話会など楽しむのもいいでしょう

健康運 体調は回復へ。寒れたときは休んで正解

幸運の食べ物 ワラビ

双子座 5/21～6/21



全体運 前半は援助運に恵まれ、いろいろ助けてもらえます。後半はあなたが力になってあげましょう。音楽鑑賞にツキ

健康運 下り坂。中旬の体調変化に留意して

幸運の食べ物 ラッキョウ

蟹座 6/22～7/22



全体運 問題は解決に向かい。気分も上向きに。作業はきめ細かく丁寧に進めましょう。うれしい結果が待っています

健康運 体力増進のチャンス。本格レッスンも◎

幸運の食べ物 ソラマメ

獅子座 7/23～8/22



全体運 思わぬ事態に驚きが出がち。運勢は下旬から上昇に転じるので冷静に。判断に迷う場合は待つ待てば好転

健康運 前半はけがや発熱に注意を。後半は回復

幸運の食べ物 菜シウガ

乙女座 8/23～9/22



全体運 好調なスタートに心が弾みます。失敗も成功の母となるのでチャレンジは続けて。外出は遠出がお勧め

健康運 頑張り過ぎに注意。適宜、休憩を入れて

幸運の食べ物 カレイ

天秤座 9/23～10/23



全体運 経験者に話を聞きに行けば素晴らしい打開策を思い付きそう。地域の歴史探訪も視野を広げる良いきっかけに

健康運 日頃のケアが大事。髪のお手入れにツキ

幸運の食べ物 ミョウガ

蠍座 10/24～11/22



全体運 大逆転運。ピンチになったときがチャンスです。敵と味方がはっきりするのは良い傾向。詳しい説明が閉塞の鍵

健康運 前半は無理をしないで。後半は快調です

幸運の食べ物 ビワ

射手座 11/23～12/21



全体運 穏やかな気運にあなたのファンが増えそう。前半は予定通り。後半はイレギュラーが増えるので臨機応変に

健康運 次第に忙しくなるので体力をキープ

幸運の食べ物 キュウリ

山羊座 12/22～1/19



全体運 好調運です。パワーがあるので強気で押すのがお勧め。新しい取り組みにも幸運が寄ります。レジャーも大吉

健康運 栄養バランスの良い食事で元気いっぱい

幸運の食べ物 初ガツオ

水瓶座 1/20～2/18



全体運 停滞運です。暴走に気を付けましょう。急入りな確認がトラブル回避の決め手に。ストレス発散には入浴が◎

健康運 暴飲暴食が心配。食事は規則正しく

幸運の食べ物 シソ

魚座 2/19～3/20



全体運 春風に誘われる軽やかな運気。外出の予定を入れて。旅行は近距離がお勧め。急な出張への準備は足りなく

健康運 手足のストレッチと目のケアを重点的に

幸運の食べ物 夏ミカン



当選者は次号で発表いたします。正解者の中から抽選で、10名の方にお米券を差し上げます。

新春号正解 (No.211)

(A)	(B)	(C)	(D)
ハ	ツ	モ	ウ
ヤ	マ	ナ	カ
ク	フ	ジ	カ
チ	エ	ロ	ゼ
コ	イ	カ	コ
ト	ジ	ブ	タ
バ	キ	ズ	グ

Lets' Try クロスワードパズル

ヨコのかぎ

- ①冬が終わるとやって来ます
- ②羊やアルパカの毛のこと
- ③スナップエンドウの下処理の際に取る物
- ④掃き掃除をするときに使います
- ⑤欲しかった商品が——になっちゃった……残念
- ⑥瞬間——の蛇口から熱湯をくんだ
- ⑦契約書や伝票に押します
- ⑧ハトの形をした箱
- ⑨輪——、消し——、——手袋
- ⑩物の重さのこと
- ⑪選挙の立候補者が肩から掛けます
- ⑫木がたくさん生い茂っている所
- ⑬患者を診察する人

タテのかぎ

- ①ビニール——の中で作物を育てた
- ②ピッ、ピッ、ピッ、ポーン
- ③口紅を片仮名言葉でいうと
- ④メロンやズッキーニもこの仲間
- ⑤ハワイの代表的なビーチリゾート。ダイヤモンドヘッドが見えます
- ⑥視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚のこと
- ⑦臭いため嫌われやすい昆虫
- ⑧国語、数学、——、社会
- ⑨ウナギの内臓を使って作る汁物
- ⑩菜の花の咲く頃に降る——梅雨
- ⑪土俵の上で戦います

鈴木由美子 山本 絹子 宮浦 聖一 伊東かおる 辻 美帆 中谷 謙太 辻 平夫 中村 和枝 中山久美子

正解者